

令和5年度第8回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和5年11月21日（木）午前10時から11時まで
場 所 天童市教育委員会 第1会議室
出席委員 相澤一彦教育長、工藤昭広委員、村山晴香委員、松村昌子委員
大内あゆ子委員
欠席委員 なし
出席者 秋保泰志教育次長兼教育総務課長、鎌田さとみ学校教育課長、
押野一貴生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

議第20号 令和5年度教育委員会所管12月補正予算（第5号）について

報 告

（1）教育総務課

ア 天童市振興審議会委員への推薦について

各課からの連絡

（1）教育総務課

・小中学校トイレほか営繕工事の進捗状況について

（2）学校教育課

・小中学校のインフルエンザ等の感染状況について

・令和5年度天童東村山地区教育講演会の開催について

・第4回市教委学校訪問（第四中）について

（3）生涯学習課

・松村前天童中部公民館長山形県社会教育連絡協議会表彰の受賞について

・令和5年度生涯学習フェスティバルの開催について

・市立図書館第2回デザイン会議の開催について

（4）学校給食センター

・調理・配送業務委託プロポーザル審査会の開催について

<教育長あいさつ>

放課後児童クラブと学校との協力連携における課題は、どこまで子どもの情報を児童に伝えていかということだ。学校からは、個人情報教えることはできないが、例えばこういう観点で保護者と相談してはというアドバイスはできると思う。

市内の小中学校長会懇談会が行われた。不登校対策への支援、校務支援システム、学校の暑さ対策について市長と学校長が意見交換を行い、市長からも学校の現状について十分に受けとめていただいた。

県女子駅伝競走大会が行われ、選手一人ひとりが頑張り第3位の成績を納めることができた。応援感謝申し上げたい。

よりよい教育はどうあるべきか、今後ともしっかり見ていきたいと思う。本日はよろしくお願ひしたい。

<議 事>

議第20号 令和5年度教育委員会所管12月補正予算（第5号）について

<決定する>

審議経過

教育次長：歳入について、中学校県補助金378万円は中学校の暑さ対策のため気化式冷風機導入に対する県の補助金となる。

歳出について、会計年度任用職員の報酬単価が改定により補正するもの。また、学校施設と教育用タブレットの修繕について増額補正する。中学校備品購入費756万円は、県補助金により気化式冷風機を中学校1校当たり7台導入するもの。

松村委員：タブレットの修理について、これをきっかけと捉え、子どもたちに物を大事に扱うことの大切さを伝えられれば、子供たちもなるべく壊さないように丁寧に扱うと思う。

工藤委員：修理費を保護者が負担することになれば、タブレットは使わなくてもいいという意見も出てくる。ずっと使っていくものなので、自分の物として愛着が湧くように大事に使っていく心を育むことも大事だ。

教育次長：心配しているのは、壊すことを恐れてタブレットを使うのを避けてしまうこと。積極的に使って欲しい。

<報 告>

(1) 教育総務課 ア 天童市振興審議会委員への推薦について

教育次長：天童市振興審議会の委員推薦について、教育委員会から大内あゆ子委員を推薦するもの。

<その他、意見等>

大内委員：先日の令和鍋合戦で、天童南部小学校の子どもたちの鍋が鍋将軍に選ばれた。市教委で学校訪問した際、鍋メニューをクラスで話し合っていた。これがきっかけで料理をしたり、色んなことで切磋琢磨できればいい。

工藤委員：市教委学校訪問について、先生方からもっと話を聞きたい。学校のいいところや、悩んでいることについて、実際の子どもたちの様子も見せてもらいながら感想など話ができればよい。

松村委員：学校の先生たちは、私たちのような外部の立場の者と、もっとディスカッションをしたいのではないか。先生方の思いを出せるような機会があれば、よりよい形になるかと思う。さまざまな立場の意見が聞けないのはもったいないことだ。たくさんの意見交換があればバージョンアップできるのではないか。

村山委員：保護者の立場として拝見して感じたことをお伝えすることで、こういうふうに保護者が思っているのだなあと参考になるような意見を述べさせてもらっている。

教育長：委員の役割は、レイマン・コントロールといわれる専門家でない視点から教育がどう見えるのか、率直にそれぞれの立場で意見を述べてもらうことが重要だ。これからも学校訪問で感じたことについて御意見いただきたい。

その他意見なし。以上で第8回教育委員会会議を終了する。